



こんなとき、 どこへ連絡したらいいの？

緊急事案でお困りのときは
市役所本庁 ☎0577-32-3333(代表)
または各支所へご連絡ください

●水道水が出ない！
水がにごっている！
上水道課へ

いつから、どこで、どのようになっているかなどをご連絡ください。



●道路が崩れている！
側溝の水があふれている！
維持課へ

どこで、どのように、どれくらいの範囲で、どうなっているかなどをご連絡ください。



●クマを目撃した！
イノシシ、シカ、サルなどの鳥獣被害が！
農務課へ

いつ、どこで、何が、何頭、どうしたかなどをご連絡ください。



●下水道があふれている！
下水道課へ

いつから、どこで、どれくらいの範囲で、どうなっているかなどをご連絡ください。



●田畑が崩れている！
農務課へ

いつ、どこで、どれくらいの範囲で、どうなっているかなどをご連絡ください。

●家畜などが伝染病にかかっているかも！
畜産課へ

いつ、どこの家畜が、どのような状況かなどをご連絡ください。



●インフルエンザなどの感染症の流行が心配！
健康推進課へ

誰が、どのような状況で、どんなことが不安かなどをご相談ください。



問合せ先 危機管理室

ワクチンの供給量不足で差し控えていた子宮頸がんワクチン接種の助成を、高校1年生相当年齢の女子から開始します。この予防接種は対象者と保護者の希望による任意の予防接種で、助成制度はワクチンの副反応^{*}があることや効果等を十分に理解された上で、接種を希望される方に助成するものです。

^{*}副反応：注射部位の痛み・腫れ、胃腸症状、頭痛など。通常は数日で治ります。この他、重い副反応としてまれにショックまたは失神を含むアレルギー反応などが認められることがあります。

●対象者 高校1年生に相当する年齢の女子(中学生も順次受付開始予定)

●標準的な接種パターン 3回接種(初回接種後、1カ月後と6カ月後)

※申請受付などの詳細については、広報たかやま8月1日号などでお知らせします。

※子宮頸がんの予防は、ワクチン接種だけでは十分ではありません。対象者または保護者の方を対象に講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

講演 子宮頸がんの予防について
—検診とワクチン接種—

講師 高山赤十字病院
産婦人科部長
脇田勝次先生

日時 7月26日(火)
午後7時～8時

場所 市保健センター
(花岡町2)

子宮頸がん予防ワクチン接種助成
8月1日、高1から開始

問合せ先

健康推進課
☎35-3160

緊急情報も自動起動でキャッチ!

高山防災ラジオ

～一家に一台あると安心です～

緊急地震速報、避難指示・勧告、クマの目撃情報、火災警報、食中毒警報、市からのお知らせなどを受信できます。

●ここがポイント!

○電源はACアダプタと充電式電池の併用。停電時でも一定時間使用できます。

○ラジオの利用料(月額300円)に対して、市では平成25年3月まで100円を助成しています。

※お求めは最寄の高山電機商業組合加盟店へ

問合せ先 危機管理室 ☎35-3345